

— News Release —

各 位

2014年9月18日
日本アジアグループ株式会社

茨城県稲敷市にメガソーラー発電所が完成 「蒲ヶ山ソーラーウェイ(約2MW)」竣工

グリーン・コミュニティの実現を目指し国内外でメガソーラー発電所の開発に注力する日本アジアグループ株式会社(コード:3751、本社:東京都千代田区、代表取締役会長兼社長:山下 哲生、以下「日本アジアグループ」)傘下のJAG国際エネルギー株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:木村 泰宏)は、このたび「蒲ヶ山ソーラーウェイ」を完成させ、竣工式を執り行いました。

「蒲ヶ山ソーラーウェイ」は、茨城県稲敷市の民間所有の遊休地約30,000㎡を活用した、出力約2MW、一般家庭の600世帯分※に相当する規模のメガソーラー発電所です。発電した電力はすべて東京電力へ売電いたします。

日本アジアグループは再生可能エネルギーの固定価格買取制度のもと、これまでの実績により培った技術とノウハウを活用し、太陽光発電所の開発を行ってまいります。

※住宅に設置する太陽光発電システムの平均設置容量:3.0~3.5kW(当社調べ)

■「蒲ヶ山ソーラーウェイ」概要

立 地 場 所	茨城県稲敷市蒲ヶ山
立 地 面 積	約30,000㎡
出 力	約2MW
パ ネ ル 枚 数	8,176枚
施 工 会 社	東芝プラントシステム株式会社
施 工 監 理	JAG国際エネルギー株式会社
パ ネ ル メ ー カ ー	株式会社東芝



【日本アジアグループ株式会社について】 <http://www.japanasiagroup.jp/>

日本アジアグループ株式会社は、日本と世界の確かな未来のために、人と地球に優しいまちづくり「グリーン・コミュニティ」の実現を目指しています。

生活や経済活動を支える新たな社会インフラとしての空間情報の整備・構築、利活用を提供する「空間情報コンサルティング事業」、低炭素で防災機能を強化したエコタウン開発を推進し、環境価値の創出と資産価値の向上を実現する「グリーンプロパティ事業」、自然エネルギーの普及を後押しする太陽光発電所開発を企画から資金調達・建設・管理運営まで一貫して行う「グリーンエネルギー事業」の3つの技術サービスと、産業と社会の発展に資本を供給する「ファイナンシャルサービス事業」が緊密に連携・サポートすることで、国内からアジア、海外まで幅広く事業を展開しています。

- 【名 称】 日本アジアグループ株式会社(持株会社)
- 【上 場 市 場】 東京証券取引所マザーズ(コード:3751)
- 【本社所在地】 〒102-0085 東京都千代田区六番町2番地
- 【資 本 金】 38億92百万円
- 【従業員数】 2,947人(連結)(2014年3月末現在)
- 【子会社数】 79社(2014年3月末現在)

【JAG 国際エナジー株式会社について】 <http://www.jag-energy.co.jp/>

JAG 国際エナジー株式会社は、全国規模での発電所開発に取り組み、自治体や民間企業、個人の方々が所有・管理する遊休地や未利用地などを、未来のエネルギーを生み出す太陽光発電所として蘇らせます。

- 【名 称】 JAG 国際エナジー株式会社
- 【本社所在地】 〒102-0085 東京都千代田区六番町2番地
- 【資 本 金】 2億35百万円
- 【業 務 内 容】 再生可能エネルギー発電施設の開発・運営、および関連するコンサルティング

【お問い合わせ先】

日本アジアグループ株式会社

コーポレート・コミュニケーション部 : 船橋

TEL: 03-3288-5704 e-mail: press@japanasiagroup.jp URL: <http://www.japanasiagroup.jp/>